

目次 Contents

- 2 目次・すその人
- 3 特集 新春座談会・新春挨拶
- 10 特集 振り返る「すその2021年」
- 12 特集 市長選挙と市議会議員補欠選挙の投票日
- 14 特集 準高地トレーニングができるまち「裾野市」
- 16 新型コロナワクチン追加接種(3回目)の接種券を送付
- 17 確定申告の受け付けが開始
- 18 市技能功労者3人を表彰
- 19 子育て世帯への臨時特別給付／活動量計を活用した運動事業／富士山芸術展／市民まちづくり(オンライン)講座
- 20 フォトグラフ
- 22 インフォメーション
- 25 図書館だより
- 26 救急協力医
- 28 裾野っ子／すこやかタウン

表紙 Front cover



市町対抗駅伝で4年連続入賞 第1区を1位で通過

12月4日(土)、しずおか市町対抗駅伝が静岡市内で開催されました。裾野市チームはゼッケン8番。第1区中学生・高校生(女子)岡本さんは接戦を制し、第1中継所を1位で通過。22回の大会の中で初めて裾野市チームが1位でタスキをつなぎました。チームも市の部7位と4年連続の入賞を果たしました。



ソロプチミスト全国表彰 社会ボランティア賞受賞

朗読録音グループ すそのうぐいす

朗読グループすそのうぐいすは、視覚障がい者のために、朗読録音テープ、CDの作成や対面朗読などを行っているボランティアグループです。11月2日(火)に、ソロプチミストの日本財団から、社会のニーズに適合した地域密着型のボランティア活動を断続的に行っている団体に贈られる社会ボランティア賞を受賞しました。

すそのうぐいすの会員は、50代から90代の15人です。活動は週一回、福祉保健会館で行っています。会員があらか



じめ録音してきた音声を持ち寄り、編集、校正して約60分のCDを作ります。題材は、新聞や書籍、雑誌、広報紙など、活字媒体から会員が伝えたいことを選びます。「視覚に障がいのある人が、傷つかない、楽しい、暗くならない話題を選ぶようにしています。読み方にも非常にこだわっていて、日々練習や発声の勉強会を行っています」と会長の富田さん。

「目が見えなくなると、怖くて外に出なくなる人が多いです。そこから1歩踏み出す助けになりたいです」と思いを語るのは会員の西川さん。最近新しい利用者となかなかつながりを持っていないことが悩みだそうです。すそのうぐいすの朗読の利用は、社会福祉協議会へご連絡ください。



susonobito No.34